

シラバス

令和 8 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	医療ビジネス科1医薬品専攻コース	授業方法	演習・講義	講義時期	通年	
授業科目	総合学習	担当者	花城・喜屋武・仲宗根	科目必修区分	必修	
授業概要	・教育理念に掲げる「豊かな人間性」を育むため、学内外の様々な授業や行事を通して協調性・思いやり・気配り・積極性・感謝など自身の体験を通して身につける科目として位置付ける。 ・就職に関する“確かな技術”を身につけることを目的に、就職への動機づけ、実社会で求められるビジネスマナーを整える機会とする。					
到達目標	・学生クレド(感謝、感動、思いやり・気配り、明朗、挨拶、素直、プラス思考、チャレンジ精神、永久戦力)に基づいて行動することが出来る。 ・社会人基礎力である「面接試験の受け方」、「メモの習慣」、「アポイントメントの取り方」を身につける					
授業計画	内 容				授業時間数	
	1	【入学オリエンテーション】 目標設定、手引きの読み合わせ、校長講話、リレーションなど			14	
	2	【新入生歓迎会】 kbc全クラス合同のスポーツ大会			6	
	3	【志学講演会】 講師を招いての学園全体での講演会			6	
	4	【ビーチパーティ】 学科1・2年合同のビーチパーティ			6	
	5	【就職実務】「就職活動の進め方」によるキャリア形成			6	
	6	【性教育】 助産師の方を招いての講話			2	
	7	【リクルートメイク講習①②】 リクルート用メイクを学ぶことで身だしなみを整え、就職活動に役立てる			4	
	8	【就職活動準備】 面接時の入退室練習、自己PR制作			10	
	9	【就職活動準備】 面接練習(入退室、質疑応答)			12	
	10	清掃ボランティア			2	
	11	企業研究(インターネット検索、求人検索、過去の就職について情報共有)			10	
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
		合計時間数	科目単位数		2	合計時間数
教科書						
時間外学習	各授業・行事においての事前準備や調べ学習を指示。 前後の各実施委員会活動					
成績評価方法	出席率40p・授業態度40p・各授業・行事レポート20pとし、学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員	備考				
実務経験紹介						

シラバス

令和 8 年度

学校名:国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	医療ビジネス科1医薬品専攻コース		授業方法	講義・演習		講義時期	通年
授業科目	セルフケア		担当者	仲眞 愛鈴		科目必修区分	必修
授業概要 (目的)	アロマオイルの活用方法、お灸の扱い方を学び、登録販売者としてお客様への商品提案できる知識とともに、学生自身が自分の夢や未来を叶える身体と心を整える知識、実践力を身に付ける						
到達目標	心身の状態をもとに、適切なアロマオイルを選び、正しく活用できる。 お灸の選び方、正しい使用方法ができる。お客様に、適切な商品を提案できる。 頭痛や生理痛等の症状が出たときに、症状を緩和することができる。						
授業計画	内 容						授業時間数
	1	オリエンテーション(講師紹介、セルフケアの必要性等について)					1
	2	1年後の自分の目標設定					1
	3	夢リスト100の作成					1
	4	ビジョンマップ作成					1
	5	血液の循環を良くする体操					2
	6	アロマオイルの効能効果について					2
	7	アロマオイルの選び方(シングルオイルとブレンドオイルの違い)					1
	8	アロマオイル【ラベンダー】の効能効果・使い方					1
	9	アロマオイル【ペパーミント】の効能効果・使い方					1
	10	アロマオイル【オレンジ】の効能効果・使い方					1
	11	アロマオイル【ユーカリ】の効能効果・使い方					1
	12	アロマオイル【ティートゥリー】の効能効果・使い方					1
	13	アロマオイルを使ったセルフケアの方法					2
	14	それぞれの症状に合わせた使い方					2
	15	キャリアオイルの選び方について					1
	16	自分の才能の取扱説明書					1
	17	自分の心をケアする方法(オラクルカードで遊ぼう)					1
	18	お灸の効能効果について					1
	19	お灸の選び方、使い方					2
	20	症状別の簡単にケアできるツボの選び方					1
	21	お灸を使わない温熱セルフケアの方法					1
	22	アロマオイル、お灸以外の症状別対策 (眼精疲労、頭痛、生理痛、冷え性、睡眠の質向上、免疫力アップ)					2
	23	東洋医学の知識					1
	24	まとめ					1
				科目単位数	1	合計時間数	30
教科書	講師により作成した資料						
時間外 学習	授業で学んだことをもとに個人の症状に合わせて実践						
成績評価 方法	出席率40p・授業態度40p・各授業・行事レポート20pとし、学校基準により4段階評価とする						
担当詳細	教員		備考				
実務経験紹介							

シラバス

令和 8 年度

学校名:国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	医療ビジネス科1医薬品専攻コース		授業方法	講義・演習	講義時期	通年	
授業科目	コミュニケーション演習(手話・英会話)		担当者	花城 奈美子	科目必修区分	必修	
授業概要	将来 薬局や、登録販売者として働くうえで、患者様やお客様へ専門知識を伝える コミュニケーションの幅を広げ、顧客満足度と店舗の信頼性を大きく高めるられるように、幅広いコミュニケーション技術を習得する。						
到達目標	①挨拶はもとより、日常会話の基本的な手話、英会話ができる。 ②専門的な説明を筆談でするまでのご案内をスムーズに手話や英会話で応対できる。 ③手話・英会話で対応できるよう今後も学び続ける意欲高揚につなげる。 ④卒業するまでに手話や英会話での日常会話がゆっくりでも理解できる。 ⑤専門知識を少しずつ手話や英会話でボキャブラリー力を上げる。						
授業計画	内 容					授業時間数	
手話	1	聴覚障害とは(聞こえの仕組みと障害の程度) 聴覚障害者へのサポート・コミュニケーションの基本 筆談や身振りなど、手話以外の補助的な意思疎通手段				1	
	2	数字・時間・曜日 ・1～万、時間の伝え方、誕生日、曜日を使って基本から応用まで				2	
	3	日常のあいさつ(おはようございます、こんにちは、ありがとう、ごめんなさい 等) 基本の自己紹介(名前、名前の指文字、出身地 等) 相手を思いやる基本の表情とアイコンタクトの重要性				2	
	4	現場で役立つおもてなしフレーズ ・基本の案内、・質問と確認、・トラブルと緊急時の対応				2	
	5	シーン別会話 ・受付、販売、薬服用の説明、会計				2	
英会話	6	挨拶、自己紹介など自身についての簡単な英会話を楽しむ ペアトレーニングを主とし、相手への質問や質問の回答で会話を広げる				2	
	7	おもてなしの基礎編 基本フレーズ ・基本の挨拶とお声かけ ・店内での場所の案内(薬、絆創膏、日用品の棚など) ・在庫の確認と品切れの案内				2	
	8	症状のヒアリングとOTC医薬品の提案 ・体の部位の英語表現(頭、胃、喉、目など) ・症状の聞き取り(熱、痛み、咳、鼻水など) ・アレルギーや服用中の薬の確認(重要) ・おすすめのOTC医薬品(第2類・第3類)の紹介と特徴の説明				2	
	9	レジ対応・会計 ・支払い方法の案内(現金、クレジットカード、電子マネーなど) ・免税手続き(Tax-free)の案内 ・レシートや領収書の発行				2	
		科目単位数			1	合計時間数	17
教科書	オリジナル制作テキスト						
時間外 学習	YouTubeチャンネル【しゅわしゅわ】視聴学習						
	YouTubeチャンネル【メディスタジオ MEDISTUDIO英会話】視聴学習						
成績評価 方法	【出席(20P)】【授業態度(20P)】【評価テスト(60P)】で評価						
	学校基準により4段階評価とする						
担当詳細	教員		備考				
実務経験紹介							

シラバス

令和 8 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	医療ビジネス科1医薬品専攻コース		授業方法	講義・演習	講義時期	前期
授業科目	志学Ⅰ		担当者	花城 奈美子	科目必修区分	必修
授業概要	KBC学園の教育理念の実現に向けて、人間性教育の内容を体系化した授業である「志学」を通して、自己肯定感を高め思考力を磨き周りによりよいコミュニケーションを図り、主体的に目標達成に向かって進む力を身につけ、日頃の学習を通して得た「高度な技能・技術」を自信に繋げ、人のため社会のため、世の中のために生かせるよう「志」を立て生涯を通して輝き続ける「永久戦力となる人財」を目指す。					
到達目標	・相手を尊重した行動ができる ・印象のよい挨拶ができる ・不快感を与えない身だしなみを整えられる ・感謝の気持ちを意識した行動がとれる					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	志学Ⅰ 序章 ねらい・学習目標				2
	2	志学Ⅰ 第1章 ～感 謝（クレド1）～				2
	3	志学Ⅰ 第2章 ～感 動（クレド2）～				2
	4	志学Ⅰ 第3章 ～思いやり・気配り（クレド3）～				2
	5	志学Ⅰ 第4章 ～明 朗（クレド4）～				1
	6	志学Ⅰ 第5章 ～挨 拶（クレド5）～				1
	7	志学Ⅰ 第6章 ～素 直（クレド6）～				2
	8	志学Ⅰ 第7章 ～プラス思考（クレド7）～				2
	9	志学Ⅰ 第8章 ～チャレンジ精神（クレド8）～				2
	10	志学Ⅰ 第9章 ～永久戦力（クレド9）～				2
	11	志学Ⅰ まとめ、振り返り				2
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	科目単位数			1	合計時間数	20
教科書	KBC学園 志学Ⅰ・Ⅱ					
時間外学習	・授業内の各種事例を深く掘り下げる ・同様事例を独自に情報収集する					
成績評価方法	【出席率20p】【授業態度40p】【毎回の授業レポート40p】 授業に取り組む姿勢や理解度を統合し、4段階（優・良・可・不可）で評価する					
担当詳細	教員		備考	航空会社スタッフ歴10年 外部マナー講座講師歴15年		
実務経験紹介						

シラバス

令和 8 年度

学校名:国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	医療ビジネス科1医薬品専攻コース		授業方法	講義・演習	講義時期	前期
授業科目	調剤事務 基礎		担当者	仲宗根 可奈恵	科目必修区分	必修
授業概要	調剤薬局において患者対応、会計業務、調剤報酬請求を行う為に必要な知識の習得。グループワークでの学習を通して協調性、自己教育力の向上を図る。					
到達目標	・作成された調剤報酬明細書と処方箋から点検業務が行える。 ・調剤報酬明細書を正しく作成することができる。 ・医療法規に基づいて学科問題を正確に解答できる。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	オリエンテーション(試験や授業の進め方を理解する。) テキスト1 医療保障制度				1
	2	第1章 医療保険のしくみ				10
	3	第2章 保険給付のしくみ				6
	4	第3章 その他の医療保障制度				7
	5	テキスト2 調剤報酬の算定				1
	6	第1章 薬局の基礎知識				2
	7	第2章 調剤報酬算定にあたって				4
	8	第3章 調剤報酬の算定① 調剤基本料①、②				2
	9	第3章 調剤報酬の算定① 薬剤料①、②				4
	10	第3章 調剤報酬の算定① 特定保険医療材料料				2
	11	第3章 調剤報酬の算定① 確認問題、理解度テスト				2
	12	第4章 調剤報酬の算定② 薬剤調製料①、②				2
	13	第4章 調剤報酬の算定② 薬剤調製料の加算①～⑤				6
	14	第4章 調剤報酬の算定② 確認問題、理解度テスト				1
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	科目単位数			3	合計時間数	50
教科書	ソラスト 調剤薬局事務講座 テキスト1～3、資料ブック、薬価表、調剤試験問題集					
時間外 学習	調剤薬局事務講座テキスト4 トレーニングブックを通して復習をする					
成績評価 方法	【出席(5P)】【確認テスト(5P)】【授業態度(5P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(80P)】で評価					
	学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	実務家		備考			
実務経験紹介		医療機関事務職歴15年				

シラバス

令和 8 年度

学校名:国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	医療ビジネス科1医薬品専攻コース		授業方法	講義・演習	講義時期	前期
授業科目	調剤事務 応用		担当者	仲宗根 可奈恵	科目必修区分	必修
授業概要	調剤薬局において患者応対、会計業務、調剤報酬請求を行う為に必要な知識の習得。グループワークでの学習を通して協調性、自己教育力の向上を図る。					
到達目標	・作成された調剤報酬明細書と処方箋から点検業務が行える。 ・調剤報酬明細書を正しく作成することができる。 ・医療法規に基づいて学科問題を正確に解答できる。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	テキスト3 レセプト作成トレーニングブック				2
	2	第1部 学科問題				2
	3	レセプトの点検(上書きの点数、内容の点検)				2
	4	トレーニングブック問題				2
	5	模擬問題				3
	6	過去問題				10
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
			科目単位数		1	合計時間数
教科書	ソラスト 調剤薬局事務講座 テキスト1～3、資料ブック、薬価表、調剤試験問題集					
時間外学習	調剤薬局事務講座テキスト4 トレーニングブックを通して復習をする					
成績評価方法	【出席(5P)】【確認テスト(5P)】【授業態度(5P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(80P)】で評価 学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	実務家		備考			
実務経験紹介		医療機関事務職歴15年				

シラバス

令和 8 年度

学校名：国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	医療ビジネス科1医薬品専攻コース		授業方法	演習・講義		講義時期	通年
授業科目	硬筆		担当者	松田 正子		科目必修区分	必修
授業概要	書写技能の水準の向上を図り、教養を高めるとともに、一般社会に役立つよう、職場・職域における事務能率を高めるため、硬筆書写に関する知識と技能を身に付けるものです。						
到達目標	一般的な漢字の読み書きが出来る 履歴書の作成						
授業計画	内 容						授業時間数
	1	履歴書説明ひらがなプリント					3
	2	カタカナ、アルファベット、数字等基本					3
	3	漢字、行書と楷書の練習					3
	4	実務書プリント2枚 科名、氏名添削指導					3
	5	実務書プリント 実技指導添削					3
	6	事務用語プリント 書き込み					3
	7	展示用 文章横書きプリント					3
	8	上達テキスト 手紙用語					2
	9	漢字書き取りテスト 漢検準2級 110字					2
	10	漢字読みテスト 漢検準2級 110字(音読も)					2
	11	漢検用実技 原稿用紙の書き方 四字熟語読み書き					2
	12	履歴書 氏名、住所部分書き練習					2
	13	履歴書 下書き仕上げ 指導添削					2
	14	履歴書 清書指導					4
	13	硬筆検定3級対策					8
	14	過去問演習					6
			科目単位数	2	合計時間数	51	
教科書	ペン字上達テキスト						
時間外 学習	字を丁寧に書くことを意識する、履歴書作成						
成績評価 方法	【出席(5P)】【確認テスト(5P)】【授業態度(5P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(80P)】で評価						
	学校基準により4段階評価とする						
担当詳細	教員		備考				
実務経験紹介							

シラバス

令和 8 年度

学校名:国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	医療ビジネス科1医薬品専攻コース		授業方法	講義	講義時期	前期
授業科目	化粧品基礎Ⅰ		担当者	花城 奈美子	科目必修区分	必修
授業概要	間違いがちな化粧品や美容に関することを学び、すぐに実践できる知識を身に付ける。 皮膚の構造や肌悩みに対する化粧品の選び方やメイク方法、美肌に導く美容知識など幅広く習得する。					
到達目標	①化粧品の中身や成分・働きを理解できる。 ②(美白・シミしわ等)それぞれの目的に合った使い方が出来る。 ③現場で医薬品のみならず化粧品に関しても幅広くアドバイス・カウンセリングが出来る。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	PART1.間違いがちな美容知識をチェック(3級) P22～P48 3級対策問題集				2
	2	3級検定試験【web受験】				1
	3	PART2.皮膚・肌について知ろう ①皮膚の構造②仕組みと働き				3
	4	PART2.皮膚・肌について知ろう ③皮膚の機能 ・小テスト				2
	5	PART3.肌の手入れと正しい知識 ①肌タイプと見分け方 ②-1肌悩みの原因・お手入れ(乾燥・ニキビ)				2
	6	PART3.肌の手入れと正しい知識 ②-2肌悩みの原因・お手入れ(毛穴・シミ・くすみ) ・小テスト				2
	7	PART3.肌の手入れと正しい知識 ②-3肌悩みの原因・お手入れ(くま、しわ・たるみ) ・小テスト				2
	8	PART3.肌の手入れと正しい知識 ③メイクアップの基本テクニック ・小テスト				2
	9	PART.4 素肌・美ボディ生活を送るには ①肌を劣化させる要因②紫外線 ・小テスト				2
	10	PART.4 素肌・美ボディ生活を送るには ③効果的なマッサージ ④美しい肌をつくる生活習慣 ・小テスト				2
	11	練習問題① 解答・解説				2
	12	練習問題② 解答・解説				2
	13	模擬試験①				2
	14	模擬試験①解答・解説 ・要点チェックシート				2
	15	模擬試験②				2
		科目単位数		2	合計時間数	
教科書	日本化粧品検定2級対策テキスト コスメの教科書 (著書:小西さやか、出版社:主婦の友社) 日本化粧品検定2級対策問題集(監修・発行:日本化粧品検定協会)					
時間外 学習	対策問題集にて、その日習得した分野の問題を復習する(20問程度)					
成績評価 方法	【出席(10P)】【確認テスト(10P)】【授業態度(20P)】【評価テスト(60P)】で評価					
	学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 8 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	医療ビジネス科1医薬品専攻コース		授業方法	演習	講義時期	通年
授業科目	POP制作		担当者	山越 優毅	科目必修区分	必修
授業概要	広告物制作の技法・技術を学び、ドラッグストア等の現場でPOP広告を施設側からお客様へのメッセージを的確に表現出来る広告物技術を修得する。					
到達目標	マジックペンの使用方法に慣れ、オリジナルの発泡スチロール板を使用した作品、ドラッグストア等の店舗内へ掲示するPOP、ポスターを制作することが出来る。POP制作を通して、個人やチームで考え実践する力、社会人基礎力となる学びあう姿勢・態度を身につける。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	・導入+実践①⇒マジックペンの使い方(線の書き方を学ぶ／直線＋曲線)				2
	2	・実践②⇒ひらがな／カタカナ(各ゴシック)				2
	3	・実践③⇒ひらがな／カタカナ／アルファベット				2
	4	・実践④⇒ひらがな／カタカナ／アルファベット／漢字				2
	5	・実践⑤⇒飾り文字Ⅰ				2
	6	・実践⑥⇒飾り文字Ⅱ				2
	7	・実践⑦⇒イラスト練習＝見本から選んで描く練習をする				2
	8	・実践⑧⇒イラスト練習＝オリジナル作品を描く				2
	9	・実践⑨⇒イラスト練習＝オリジナル作品を描く				2
	10	・実践⑩⇒イラスト練習＝オリジナル作品を描く				2
	11	・実践⑪⇒発泡スチロール板を使用してオリジナルPOPを制作する				4
	12	・POPの実態調査(学校周辺)				2
	13	・コンセプトメイキング＝4つの目(対象、ターゲット、ライバル、時代)の理解				2
	14	・コピー制作(4つの目を意識)				2
	15	・POP制作				2
	16	・プレゼンテーション				2
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
		科目単位数			1	合計時間数
教科書	なし					
時間外学習	日々の生活の中で目にするPOP広告に注目するよう指導する。					
成績評価方法	【出席(20P)】【授業態度(30P)】【提出課題(50P)】で評価 学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 8 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	医療ビジネス科1医薬品専攻コース		授業方法	演習		講義時期	前期	
授業科目	PC演習(文章入力スピード)		担当者	仲宗根 可奈恵		科目必修区分	必修	
授業概要	パソコンを操作するうえで最も基本的な”文字入力”をマスターします。文字が速ければ速いほど仕事の処理能力にも直結します。自己流の打ち方(俗にいう”癖”)ではいつか限界が来ます。正確なタッチメソッド(運指法)を学ぶことで練習量に比例した成長が出来る基礎を作ります。							
到達目標	キーボードを見ずに”タッチタイピング”が出来る。10分間で”300字以上”の文字入力出来る。Microsoft Wordの基本機能を使い、”通信文のルールに沿った”バランスの良い書類を作成することが出来る。							
授業計画	内 容						授業時間数	
	1	スケジュール確認、PC環境の確認、アプリケーションの準備(MIKATYPE)					2	
	2	ポジション練習①(MIKATYPEを使用してタッチタイピングの徹底)					2	
	3	ポジション練習②(課題:ホームポジション→上段→全段)					4	
	4	ポジション練習③(ローマ単語練習)					4	
	5	速度練習①(速度試験ルールを学ぶ)					6	
	6	速度練習②(各受験級の設定文字数超えを目指す)					14	
	7							
	8							
	9							
	10							
	11							
	12							
	13							
	14							
	15							
	16							
	17							
	18							
	19							
	20							
	21							
	22							
	23							
	24							
	25							
				科目単位数	1	合計時間数		32
教科書	日本語ワープロ検定模擬問題集							
時間外学習	「ローマ字」の基礎知識。受験予定級の基準文字数をクリアできない場合は放課後などの時間を利用して練習を行うこと。							
成績評価方法	【出席(10P)】【授業態度(10P)】【評価テスト(80P)】で評価							
	学校基準により4段階評価とする							
担当詳細	教員		備考					
実務経験紹介								

シラバス

令和 8 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	医療ビジネス科1医薬品専攻コース		授業方法	演習・講義	講義時期	通年	
授業科目	PC演習(日本語ワープロ)		担当者	山越 優毅	科目必修区分	必修	
授業概要	パソコンを操作するうえで最も基本的な”文字入力”をマスターします。文字が速ければ速いほど仕事の処理能力にも直結します。自己流の打ち方(俗にいう”癖”)ではいつか限界が来ます。正確なタッチメソッド(運指法)を学ぶことで練習量に比例した成長が出来る基礎を作ります。						
到達目標	キーボードを見ずに”タッチタイピング”が出来る。10分間で”300字以上”の文字入力出来る。Microsoft Wordの基本機能を使い、”通信文のルールに沿った”バランスの良い書類を作成することが出来る。						
授業計画	内 容					授業時間数	
	2	ポジション練習①(MIKATYPEを使用してタッチタイピングの徹底)				2	
	4	ポジション練習②(ローマ単語練習)				2	
	5	速度練習①(速度試験ルールを学ぶ)				4	
	6	速度練習②(各受験級の設定文字数超えを目指す)				4	
	7	通信文練習①(各級ごとの通信文試験のルールを学ぶ)				4	
	8	通信文練習②(時間内にバランスよく仕上げられるように練習)				4	
	9	総合練習(速度試験、通信文試験を時間内に基準点超えを目指す)				38	
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
	16						
	17						
	18						
	19						
	20						
	21						
	22						
	23						
	24						
	25						
				科目単位数	1	合計時間数	58
	教科書	日本語ワープロ検定模擬問題集					
時間外学習	「ローマ字」の基礎知識。受験予定級の基準文字数をクリアできない場合は放課後などの時間を利用して練習を行うこと。						
成績評価方法	【出席(10P)】【授業態度(10P)】【評価テスト(80P)】で評価 学校基準により4段階評価とする						
担当詳細	教員		備考				
実務経験紹介							

シラバス

令和 8 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	医療ビジネス科1医薬品専攻コース		授業方法	講義・演習		講義時期	前期
授業科目	医薬品の基礎知識		担当者	大城 孝子		科目必修区分	必修
授業概要	医薬品の本質(食品との違いを含む)について理解し、効き目や安全性に影響を与える要因について学ぶ。また、薬害の歴史と薬害の訴訟について学ぶことで医薬品の知識を深める						
到達目標	医薬品と食品の違い、薬害の訴訟などについて理解し、説明できる						
授業計画	内 容						授業時間数
	1	①医薬品の本質、②医薬品のリスク評価、③医薬品の健康食品、小テスト					2
	2	①副作用への配慮、②不適正な使用と有害事象、③相互作用への配慮、小テスト					2
	3	④小児への配慮、⑤高齢者への配慮、⑥妊娠・授乳中の配慮、小テスト					2
	4	⑦医療機関で治療を受けている人、⑧プラセボ効果、⑨医薬品の品質、小テスト					2
	5	①医薬品用医薬品、②セルフメディケーション、③コミュニケーション、④販売時に確認しておきたいポイント、小テスト					2
	6	①サリドマイド訴訟、②スモン訴訟、③HIV訴訟、④CJD訴訟、⑤まとめ、小テスト					2
	7	練習問題					8
		科目単位数		1	合計時間数		20
教科書	講師作成テキスト、登録販売者試験対策問題						
時間外学習	講師作成テキストを活用して復習。併せて過去問をGoogleformで豆テスト形式で自学習を行う。						
成績評価方法	【出席(20P)】【確認テスト(5P)】【授業態度(5P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(65P)】で評価 学校基準により4段階評価とする						
担当詳細	教員		備考				
実務経験紹介							

シラバス

令和 8 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	医療ビジネス科1医薬品専攻コース		授業方法	講義・演習	講義時期	前期
授業科目	人体の働き		担当者	大城 孝子	科目必修区分	必修
授業概要	人体の諸器官の構造と働きについて理解し、医薬品の体内における働きがわかる。また、剤形ごとの違い、適切な使用方法を理解し、主な副作用について学ぶ。					
到達目標	諸器官の構造と働きを理解し、主な副作用について説明が出来る					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	①消化器系(口腔、咽頭・食道、胃、小腸、大腸)、小テスト				2
	2	②消化器系(膵臓、胆のう、肝臓、肝臓の主な働き、大腸)、小テスト				2
	3	①呼吸器系(鼻腔、咽頭、喉頭・気管・気管支・肺)、小テスト				2
	4	①循環器系(心臓、血管系(動脈・静脈・毛細血管、血液)、小テスト				2
	5	②循環器系(脾臓、リンパ系(リンパ液、リンパ管、リンパ節)、小テスト				2
	6	①泌尿器系(腎臓、副腎、尿路、膀胱、尿道、前立腺)、小テスト				2
	7	①感覚器官(目、鼻、耳)、小テスト				2
	8	①運動器官(皮膚、骨格、筋組織)、小テスト				2
	9	①脳・神経系(中核神経系、末梢神経系)、小テスト				2
	10	①体内で薬がたどる運命、②薬の体内での働き、③医薬品の剤形、小テスト				1
	11	①副作用が生じた場合の対応、②全身に現れる副作用、③精神神経系に現れる副作用、④体の局所に現れる副作用、小テスト				1
	12					
	13					
	14					
	15					
				科目単位数	1	合計時間数
教科書	講師作成テキスト、登録販売者試験対策問題					
時間外学習	講師作成テキストを活用して復習。併せて過去問をGoogleformで豆テスト形式で自学習を行う。					
成績評価方法	【出席(20P)】【確認テスト(5P)】【授業態度(5P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(65P)】で評価					
	学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 8 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	医療ビジネス科1医薬品専攻コース	授業方法	講義・演習	講義時期	通年
授業科目	主な医薬品とその作用	担当者	大城 孝子	科目必修区分	必修
授業概要	各薬効群の特徴について理解し、個々の有効成分の働きについて学ぶ				
到達目標	各薬効や有効成分を理解し、説明が出来る				
授業計画	内 容				授業時間数
1	①「かぜ」とは、②かぜ薬の主な配合成分、③かぜ薬に配合される漢方製剤、小テスト				1
2	①解熱鎮痛薬とは、②代表的な配合成分、③鎮痛を目的とする漢方処方製剤、④相互作用、小テスト				1
3	①代表的な配合成分、②不安・不眠の改善を目的とした漢方処方製剤、③相互作用、④受診勧奨、小テスト				1
4	①眠気を防ぐ薬、②鎮暈薬(ちんうんやく)、③小児の疳を適応症とする生薬製剤・漢方処方製剤、小テスト				1
5	①鎮咳去痰薬とは、②代表的な配合成分、③漢方処方製剤、④相互作用、受診勧奨、小テスト				1
6	①口腔咽喉薬。含嗽薬に関する一般的な注意事項、②代表的な配合成分、③喉の痛みを鎮めることを目的とした漢方処方製剤、④受診勧奨、小テスト				1
7	①胃の不調、薬が症状を抑える仕組み、②代表的な配合成分、③胃の不調を改善する漢方処方製剤、④受診勧奨、小テスト				1
8	①腸について、②代表的な配合成分、③腸の不調を改善する漢方処方製剤、④相互作用、受診勧奨、小テスト				1
9	①代表的な鎮痙成分、②相互作用、受診勧奨、小テスト				1
10	①浣腸薬、②駆虫薬、小テスト				1
11	①動悸、息切れ等を生じる原因と強心薬の働き、②代表的な配合成分、③漢方処方製剤、④強心薬の相互作用、受診勧奨、小テスト				1
12	①コレステロールとは、②代表的な配合成分、小テスト				1
13	①貧血症状と鉄製剤の働き、②代表的な配合成分、小テスト				1
14	①循環器用薬、②漢方処方製剤、小テスト				1
15	①痔の発症、痔疾用薬の働き、②外用痔疾用薬の代表的な配合成分、③内容痔疾用薬の代表的な成分、④痔に用いる漢方処方製剤、⑤相互作用、受診勧奨、小テスト				1
16	①代表的な配合成分、②漢方処方製剤、小テスト				1
17	①適用対象となる体質・症状、②婦人薬の代表的な配合成分、③婦人薬としての漢方処方製剤、④相互作用、受診勧奨、小テスト				1
18	①アレルギー症状が発生する仕組み、②アレルギー症状を抑える配合成分、③漢方処方製剤、④相互作用、受診勧奨、小テスト				1
19	①鼻炎とは、②鼻炎点鼻薬、③代表的な配合成分、小テスト				1
20	①点眼薬とは、②点眼薬における一般的な注意、③点眼薬の副作用、④緑内障の場合、⑤点眼薬の配合成分、小テスト				1
21	①外皮用薬、②傷口の殺菌消毒成分、③皮膚のかゆみ、腫れ、痛みを抑える配合成分、④肌の角質化、かさつき等を改善する配合成分、⑤抗菌作用を有する配合成分、⑥抗真菌作用を有する配合成分、⑦みずむし、たむし、⑧頭皮・毛根に作用する配合成分、小テスト				1
22	①歯痛薬(外用)の配合成分、②歯槽膿漏薬(外用)、③歯槽膿漏薬(内服)、小テスト				1

	23	①口内炎や舌炎の原因、②代表的な配合成分、③漢方処方製剤、④相 互作用、受診勧奨、小テスト			1	
	24	①喫煙習慣とニコチン、禁煙、小テスト			1	
	25	①医薬品として扱われる保健薬、②主な配合成分、③生薬成分、④漢方 処方製剤、小テスト			1	
	26	①漢方の特徴、漢方薬使用における基本的な考え方、②代表的な漢方 処方製剤、小テスト			1	
	27	①生薬製剤、②代表的な生薬成分、小テスト			1	
	28	①消毒薬の選択、②代表的な殺菌消毒成分・取り扱い上の注意、小テスト			1	
	29	①殺虫剤・忌避剤とは、②衛生害虫、③代表的な殺虫成分、④殺虫剤の 主な剤形、用法、⑤殺虫剤を使用する際の一般的な留意事項、⑥忌避剤 を使用する際の一般的な留意事項、小テスト			1	
	30	①一般用検査薬とは、②尿糖・尿蛋白検査薬、③妊娠検査薬、小テスト			1	
	31					
	科目単位数			2	合計時間数	30
教科書	講師作成テキスト、登録販売者試験対策問題					
時間外 学習	講師作成テキストを活用して復習。併せて過去問をGoogleformで豆テスト形式で自学習を行 う。					
成績評価 方法	【出席(20P)】【確認テスト(5P)】【授業態度(5P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(65P)】で評価 学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 8 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	医療ビジネス科1医薬品専攻コース		授業方法	講義・演習	講義時期	後期
授業科目	薬事関係法規と制度		担当者	大城 孝子	科目必修区分	必修
授業概要	医薬品、医薬部外品、化粧品や食品の違い、薬局や店舗販売業などの違い、販売方法や情報提供に関する規定、広告規制、行政庁による処分の種類について学ぶ					
到達目標	医薬品から薬局、行政など幅広い分野の法規や制度について説明が出来る					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	第4章(薬事関係の法規・制度)				2
	2	①法の目的、②医薬品の定義と範囲、小テスト				2
	3	①容器・外箱等への記載事項、添付文書等への記載事項、②医薬部外品、化粧品、保健機能食品等、小テスト				2
	4	①許可の種類、②リスク区分に応じた販売従事者、情報提供および陳列等、小テスト				2
	5	①適正な販売広告、②適正な販売方法、③行政の監視指導、小テスト				2
	6	練習問題				10
		科目単位数		1	合計時間数	
教科書	講師作成テキスト、登録販売者試験対策問題					
時間外学習	講師作成テキストを活用して復習。併せて過去問をGoogleformで豆テスト形式で自学習を行う。					
成績評価方法	【出席(20P)】【確認テスト(5P)】【授業態度(5P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(65P)】で評価					
	学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 8 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	医療ビジネス科1医薬品専攻コース		授業方法	講義・演習	講義時期	後期
授業科目	医薬品の適正使用・安全		担当者	大城 孝子	科目必修区分	必修
授業概要	医薬品の添付文書及び製品表示の記載内容について理解し、安全性の情報収集から評価、提供の仕組み、各救済制度の仕組みについて学ぶ。また、各別表について理解を深める					
到達目標	医薬品の添付文書について説明が出来、救済制度の仕組みについて理解して説明が出来る					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	①適正使用情報とは、②添付文書の読み方、小テスト				4
	2	①使用上の注意、②製品表示の読み方(外箱等)、③安全性情報、④購入者に対する情報の提供、小テスト				4
	3	①医薬品の副作用情報等の収集、②医薬品による副作用を報告する方法、③医薬品の副作用等による健康被害の救済、④一般用医薬品に関する安全対策、⑤医薬品の適正使用のための啓発活動、小テスト				4
	4	①別表5-1「してはいけないこと」、②別表5-2「相談する事」、③小テスト				4
	5	練習問題				4
		科目単位数		1	合計時間数	
教科書	講師作成テキスト、登録販売者試験対策問題					
時間外学習	講師作成テキストを活用して復習。併せて過去問をGoogleformで豆テスト形式で自学習を行う。					
成績評価方法	【出席(20P)】【確認テスト(5P)】【授業態度(5P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(65P)】で評価					
	学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 8 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	医療ビジネス科1医薬品専攻コース		授業方法	演習		講義時期		通年	
授業科目	登録販売者試験演習			担当者	大城 孝子		科目必修区分		必修
授業概要	一般用医薬品(第2類、第3類)を取扱う従事者として、医薬品に関する知識や人体との関り、薬事関係法規について学習し、国家資格取得を目標とする。								
到達目標	登録販売者試験の問題が解ける・説明が出来る								
授業計画	内 容								授業時間数
	1	令和6年模擬問題(北海道・東北)午前のみ							2
	2	令和6年模擬問題(北関東・甲信越)午前のみ							2
	3	令和6年模擬問題(南関東)午前のみ							2
	4	令和6年模擬問題(北陸・東海)午前のみ							2
	5	令和6年模擬問題(大阪)午前のみ							2
	6	令和6年模擬問題(北海道・東北)							8
	7	令和6年模擬問題(北関東・甲信越)							8
	8	令和6年模擬問題(南関東)							8
	9	令和6年模擬問題(北陸・東海)							8
	10	令和6年模擬問題(大阪)							8
	11	令和6年模擬問題(奈良)							8
	12	令和6年模擬問題(近畿5県)							8
	13	令和6年模擬問題(中国)							8
	14	令和6年模擬問題(四国)							8
	15	令和6年模擬問題(九州・沖縄)							8
		科目単位数				3	合計時間数		90
教科書	講師作成テキスト、登録販売者試験対策問題								
時間外学習	講師作成テキストを活用して復習。								
成績評価方法	【出席(20P)】【確認テスト(5P)】【授業態度(5P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(65P)】で評価								
	学校基準により4段階評価とする								
担当詳細	教員		備考						
実務経験紹介									

シラバス

令和 8 年度

学校名:国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	医療ビジネス科1医薬品専攻コース		授業方法	講義・演習	講義時期	通年	
授業科目	接遇		担当者	花城 奈美子	科目必修区分	必修	
授業概要	社会人としての資質、組織の機能、対人関係、電話実務、文書の取扱い等の基本を知り、実践し身につける。実社会に出た時に戸惑うことなく行動できるよう幅広いビジネスマナーの知識を習得する。						
到達目標	①感じの良い身だしなみや表情を身に付ける。 ②その場に応じた挨拶が当たり前に出来る。(会釈・敬礼・最敬礼) ③言葉遣いの基本を理解し(尊敬語・謙譲語)、実践出来る。 ④来客応対(心構えを知る、受付、名刺交換、お茶接待等)の流れを理解し、実践出来る。 ⑤電話応対(受信・発信、伝言メモ作成、イレギュラーな対応等)の流れを理解し、実践出来る。						
授業計画	内 容					授業時間数	
	1	オリエンテーション(授業概要説明、自己紹介) 社会人としての心構え・基本動作 第一印象、表情訓練、身だしなみについて				4	
	2	言葉遣い(尊敬語・謙譲語・丁寧語)				4	
	3	来客応対① ・受付業務、名刺の取り扱い方、取次の仕方、案内の仕方、お茶の出し方、見送り等ロールプレイングを通して学び体得する。※スーツ着用				10	
	4	来客応対② ・評価テスト:接遇実習室使用 ※スーツ着用				4	
	5	電話応対① 基本動作、心構え、受信業務				6	
	6	電話応対② 受信業務(不在時の対応) ・評価テスト:接遇実習室使用 ※スーツ着用				6	
	7	お付き合いのマナー				10	
	8						
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
		科目単位数			2	合計時間数	44
教科書	実践ビジネスマナー(ウイネット)						
時間外学習	授業で理解し習得した内容を日々の生活で生かす。 センスアップセミナーで実践する。						
成績評価方法	【出席(20P)】【授業態度(20P)】【評価テスト(60P)】で評価 学校基準により4段階評価とする						
担当詳細	実務家		備考				
実務経験紹介	航空会社スタッフ歴10年、外部マナー講座講師歴15年						

シラバス

令和 8 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	医療ビジネス科1医薬品専攻コース		授業方法	講義・演習	講義時期	前期
授業科目	サービス接遇Ⅱ		担当者	仲宗根 可奈恵	科目必修区分	必修
授業概要	サービス接遇者としてふさわしい話し方、立ち居振る舞いを実践し、接客技術に必要な知識と愛嬌のある態度(雰囲気)を身に付ける。					
到達目標	①お客さまに対して適切で丁寧な言葉遣いが出来る。(言葉遣い) ②明るく生き生きとしていて、愛嬌と親しみのある話し方が出来る。(話し方) ③親しみのある態度と、お客様を思いやる態度で接することが出来る。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	オリエンテーション、サービス接遇検定概要(授業内容・検定心構え)				1
	2	Ⅰ. 接遇の基本 ①丁寧な言葉遣い ②親しみのある態度、振る舞い ③相手を思いやるということ				5
	3	Ⅱ. 接遇の実践 ①笑顔、お辞儀、言葉遣い ②接遇者としての振舞い、販売実践				4
	4	Ⅲ. 検定対策・基本言動 ①面接室に入る(待ち姿勢、丁寧なあいさつ) ②基本言動(課題パネル実践)				4
	5	Ⅳ. 検定対策・接客応答 ①接客応答(言動と動作の一体化)				4
	6	Ⅴ. 検定対策・接客対応 ①接客対応(模擬販売)				4
	7	面接試験対策				4
	8	模擬面接試験				4
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
		科目単位数			2	合計時間数
教科書	サービス接遇検定受験ガイド準1級(早稲田出版)					
時間外 学習	予習:テキストの次回学習範囲に目を通す。(20分程度)					
	復習:その日にやったことを自宅・アルバイト先で実践する。					
成績評価 方法	【出席(10P)】【授業態度(20P)】【確認テスト(20P)】【評価テスト(50P)】で評価					
	学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 8 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	医療ビジネス科1医薬品専攻コース		授業方法	講義・演習	講義時期	後期
授業科目	サービス接遇B		担当者	仲宗根 可奈恵	科目必修区分	必修
授業概要	サービス接遇者としてふさわしい話し方、立ち居振る舞いを実践し、接客技術に必要な知識と愛嬌のある態度(雰囲気)を身に付ける。					
到達目標	①お客さまに対して適切で丁寧な言葉遣いが出来る。(言葉遣い) ②明るく生き生きとしていて、愛嬌と親しみのある話し方が出来る。(話し方) ③親しみのある態度と、お客様を思いやる態度で接することが出来る。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	オリエンテーション、サービス接遇検定概要(授業内容・検定心構え)				1
	2	Ⅰ. 接遇の基本 ①丁寧な言葉遣い ②親しみのある態度、振る舞い ③相手を思いやるということ				10
	3	Ⅱ. 接遇の実践 ①笑顔、お辞儀、言葉遣い ②接遇者としての振舞い、販売実践				10
	4	Ⅲ. 検定対策・基本言動 ①面接室に入る(待ち姿勢、丁寧なあいさつ) ②基本言動(課題パネル実践)				7
	5	Ⅳ. 検定対策・接客応答 ①接客応答(言動と動作の一体化)				8
	6	Ⅴ. 検定対策・接客対応 ①接客対応(模擬販売)				8
	7	面接試験対策				10
	8	模擬面接試験				10
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
		科目単位数			3	合計時間数
教科書	サービス接遇検定受験ガイド準1級(早稲田出版)					
時間外 学習	予習:テキストの次回学習範囲に目を通す。(20分程度)					
	復習:その日にやったことを自宅・アルバイト先で実践する。					
成績評価 方法	【出席(10P)】【授業態度(20P)】【確認テスト(20P)】【評価テスト(50P)】で評価					
	学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 8 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	医療ビジネス科1医薬品専攻コース		授業方法	講義・演習	講義時期	後期
授業科目	PC演習 (Excel)		担当者	喜屋武 慶子	科目必修区分	必修
授業概要	情報化社会において、コンピュータを使った情報処理のスキルと知識は、日々の勉強や仕事だけでなく、日常生活でも活用が多い。本講義では表計算ソフト(Excel)の基本的な機能を身に付け学習・就職後に活用できる人財を目指します。					
到達目標	表計算処理(四則演算、統計関数など)、グラフの作成、簡易データベース構築(フィルタなど)の方法を講義・演習・課題作成を通して習得し、一般的な業務処理を効率化することが出来る。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	講師紹介、授業シラバスの読み合わせ、PC環境設定等				1
	2	3級練習問題①解説 ※【問題1】概要、基礎知識、罫線、行列の幅など				2
	3	3級練習問題①解説 ※【問題2】四則演算、関数など				2
	4	3級練習問題①解説 ※【問題3】データベース機能など				2
	5	3級練習問題①解説 ※【問題4】グラフの作成など				2
	6	3級練習問題①解説 ※【問題5】ページ設定、印刷設定など				2
	7	3級練習問題①を通して解く。※不明点の質問を受け付ける				2
	8	3級練習問題②～③実施 ※不明点の質問を受け付ける				2
	9	3級模擬問題①実施 ※理解度を把握				2
	10	3級練習問題④～⑤実施 ※不明点の質問を受け付ける				2
	11	3級模擬問題②実施 ※理解度を把握				2
	12	3級練習問題⑥～⑦実施 ※不明点の質問を受け付ける				2
	13	3級模擬問題③実施 ※理解度を把握				2
	14	3級練習問題⑧～⑩実施 ※不明点の質問を受け付ける				2
	15	3級模擬問題④～⑥実施 ※理解度を把握				2
	16	練習問題①～⑩、模擬問題①～⑥を繰り返し解く				6
	17	模擬試験プログラム①～③を実施				2
	18	試験プログラムを実施 ※本試験対策				5
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
			科目単位数		2	合計時間数
教科書	Excel表計算処理技能認定試験 問題集					
時間外学習	授業時間内に理解できない箇所があった場合、放課後の時間などを利用して復習を行う					
成績評価方法	【出席(10P)】【確認テスト(10P)】【授業態度(10P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(65P)】で評価 学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						